

8月半ばから下旬の土曜日。岡田広報担当 理事より「すかたん会」の現況も説明され、現在不明の福井県、石川県や富山県についても積極的に入会勧誘するようすかたん会幹事に指導する旨報告された。菅野北陸会長より卒後未入会や未登録になっている先生方を調査する旨も発言された。また、山本大阪府会長より「主催は近北で結構だが、もともと大阪府の事業でもあったので共催として大阪府同窓会も協力したい。」と発言があり承認された。サマー懇親会には各府県の会長等の役員も出席願うこととなるのですが、今後、共催希望の府県が増える可能性も含んでいる。

京都府同窓会だより

平成21年10月25日(日)、恒例の秋のリクリエーションが行われました。今年は『グルメツアー第7回目』といたしまして、「爽やかな秋風の中、神戸湾内クルージング&三宮で極上ステーキを味わおう」という素敵な小旅行です。午前9時30分に京都駅に集合して、新幹線で神戸を目指します。旅行といえば、行きの乗り物の中からビール・お酒を飲み、目的地に着いた時には出来上がっていたというパターンもあるかと思いますが、京都府支部は奥ゆかしく、どなたもアルコールを召し上がることなく静かに談笑しつつ、神戸に到着いたしました。

中突堤中央ターミナルかもめりあから、遊覧船ファンタジーに乗船して神戸湾内クルージングへ出発です。ハーバーランドを越え、川崎造船や三菱重工の造船中の船の説明を聞き終わると、湾外に出ます。

兵庫県同窓会だより

明けましておめでとうございます。九歯大兵庫同窓会です。昨年は政権交代という劇的変化の年でありましたが、皆様方におかれましてはいかが思われたでしょうか。私は日本の将来が財政国防国民のモラル等各方面において非常に危惧に思えてなりません。なるほど、歯科における診療報酬2.5%アップと(自民党から民主党に鞍替えしたことの成果と思われませんが)オンライン化延期等評価できる一面もあります。しかし「公約実行、借金頼み」とマスコミから揶揄されている巨額の国債発行、連立政権の足枷に縛られての沖縄基地問題の先送り(そもそも憲法第九条の名の下に政府も国民ももうやむやにしてきた事が根本原因)本来は

大阪府同窓会だより

最近とても老けて見られるようになった。母親と飯を食べに行ったら給仕の小娘に「ご夫婦ですか?」と言われた。入院している妻を見舞いに行ったら看護師に「お父さんですか?」と言われた。映画を見に行ったら切符売りのバイトの少年にいきなり「シルバーの方は証明するものが要ります。」言われた。なんでやねん。市場に虎が出た話ではないが三回続くとたまたまとか偶然ではなくぼんまに老けてみえるのだろう。「ふけたふけた芋屋の娘」という昔のギャグを思い出す。

③岡田広報担当理事より「近北地区だより」を明年1月末発行を目指している、原稿依頼を受けられている先生方のご協力を賜りたい。また、「すかたん会」の代表者にも投稿してもらった件も了承された。

- 5. その他
次回役員会(平成21年度第3回)は、平成22年4月25日(日)鳥よしでの開催予定。
- 6. 閉会のことば 壺坂副会長
暫時休憩のあと
永末監事の開宴のことば・乾杯のご発声で懇親会に入り、石田京都府会長のお開きのことばにて散会となった。

遠くに明石海峡大橋を眺め、神戸空港に向かいました。水平線を見ていると、日々のストレスを忘れ、爽快な気分になります。空港連絡橋の下を通り抜け、Uターンして湾内に戻ってきました。船内では、乗客も少なく、好きな所で自由にゆつくりくつろぐことが出来ました。下船してから、北野の神戸ステーキのお店『和黒』へ向かいました。ワインで乾杯し、サーモンの前菜から始まり、目の前で厚い極上のステーキを焼いていただきます。ジュシーでとろけるようなお肉に皆様ご満足の様子でした。食後は三宮まで歩き、JR組・阪急組・その他に分かれ、秋のリクリエーションはおひらきになりました。

(京都 浦岡知加子記)



両親が責任を持って育てるのが当然でそれが叶わない人に社会保障として手を差し伸べるならまだしもすべてに子供手当など塾やお稽古事の月謝、場合によっては親のギャンブル酒代に消えるだけ。「打出の小槌でもあるのか」と言いたくなる。高速道路の無料化も渋滞と国民の石油消費を激増させ、鉄道航空フェリー等公共準公共の業界の衰退を招くだけ。大衆迎合主義を地でいくような政権がよくも誕生したとか。

新年の挨拶とは程遠いものになりましたが、私達歯科医師も歯科診療報酬の増減だけにとらわれず、日本国全体の行く末を見定めて行きたいものです。

(九歯大兵庫同窓会広報担当理事 新田 典夫)

妙齢のお嬢さんではないのだから老けて見えようが若く見えようが世間はなんとも思わん。とみずからをなぐさめるがやはり面白くない。もうそろそろで電車で席を譲られるのではないかと不安に駆られている。中学生や高校生のころ女の子にきんざん「ぶすや」「でぶや」言ってきた罰が当たったのではないか。私の子供の頃50台と言えば立派なおじいさんだったが今はスニーカー履いてジーンズ着とるぞ。全般に若つくりしとるからこっちは不利だ。年寄りが尊敬される韓国に住もうか。(年上の前でタバコは吸わないという美しい風習がある。)ガリバー旅行記の不老不死の国に行きたい。とか色々考

える。こんなことではいけない。同総会に行っても過去を振り返って未来を語らん奴は嫌われる。前向きに考え直してみようではないか。赤瀬川源平先生と言われるところの「老人力」がついたのだ。これからは老けたと悲観せず淡くなった、貫禄がついたと思われる立ち振る舞い、をして素敵なお老の男になろう。(文責 青木修一)

「サマー懇親会」
8月22日の講習会のあと帰省中の学生さんにも参加してもらい、ナンバのピアホールで盛大に行われました。詳しくは「九州歯科大学大阪府同窓会」のホームページをご覧ください。

大阪府同窓会役員有志旅行

去る平成21年11月21日(土)～22日(日)に大阪府同窓会役員有志で愛知県の吉良温泉「竜宮ホテル」へ1泊旅行へ行ってきました。土曜日の午後から2台の車に分乗して6時過ぎに到着、すぐにコンパニオンさんにお酌をもらいつつ宴会開始が始まりました。青木先生の献身的なご配慮で(?)想像を絶する盛り上がりでした。翌日ははじめに観光をすることになり、「人生劇場シリーズ」の作者である「尾崎士郎記念館」でやくざ映画の歴史を学び、「忠臣蔵」の敵役「吉良上野介」のお墓

奈良県同窓会だより

昨年末、NHKで司馬遼太郎の「坂の上の雲」が放映されました。5話ずつ3年に亘って放送されると言う変則的な構成ですが、原作の雰囲気をよく伝えてます。日露戦争での秋山好古、真之の両軍人と俳人正岡子規を主人に勃興期の日本を描いて、すでに読まれた方も多と思います。私も10数年ぶりに今度読み返してみ、以前の文庫本の活字は「こんなにちいさかったのか」とびっくりしました。読むたびにいちいち眼鏡を取り出すのも面倒なので、仕方なく新しく本を買いましたが、今まで診療のとき以外は老眼鏡を必要としてなかったのが少しショックです。それはともかく、読み直しているうちに、今回は以前と違って正岡子規のことが非常にきになりました。この小説は文庫本で8巻あって、子規は3巻で亡くなりますが、司馬遼太郎は当初の気持ちではもっと子規のことを書くつもりだったのではないのかななどと

滋賀県同窓会だより

福岡歯科大学 九州歯科大学 合同学術講演会
平成21年度九州歯科大学滋賀県同窓会総会、学術講演会、および懇親会が9月12日(土)5時30分より琵琶湖ホテル「さくら」の間に於いて開催されました。同窓会総会は本部より3年連続で九州歯科大学同窓会松延彰友会長におこしいただき 滋賀県同窓会会員12名で開催されました。笹口博彰先生(大37期)の司会で北村隆信先生(大17期)に9月5日に行われた都道府県会長会議での内容等を含んだ会長挨拶を頂きました。続いて同窓会長挨拶として松延彰友



診療所のホームページを作ろう!
日程 8月8日(土)、22日(土) 16:00～19:00
講師 28期西本達哉先生、38期東昭平先生、インストラクター 29期豊田裕章先生
内容、参加者全員がHPを開設して基本をマスターする。
参加者、兵庫県元会長の元村先生、現会長の吉位先生をはじめ26名がありました。

でお線香をあげました。立派な赤穂浪士のお墓とは違ってまことに質素なものでした。



参加者：山本会長、岡谷、西本、青木、長崎三男、加藤、東、(敬略)、岡田

思っています。子規といえば「柿食えば鐘が鳴るなり法隆寺」の句が有名です。この句は、彼が日清戦争に記者として従軍中に喀血して、故郷の松山で養生したのち、東京に帰る途中で奈良に立ち寄った時に詠んだ句だそうです。正岡子規は結構奈良とつながりがあり、妹の律さん(「坂の上の雲」では菅野美穂が演じてます)のお孫さんが現在奈良に住んでおられます。こじつけっぽいですが、今年は平城遷都1300年祭で奈良市内のみならず、法隆寺のあたりでもいろんな行事が予定されています。今まで修学旅行でしか来られたことがないという先生も、この機にぜひ足を運んでみてください。今年は奈良県同窓会会長を、私から31期の高崎真一先生にバトンタッチします。また昨年は新会員として51期の高橋一郎先生が入会されました。若返る奈良県支部を今後ともよろしく願います。(奈良県同窓会 水谷文美記)

会長に 国家試験の成績、同窓会本部での事業についてお話を頂きました。続いて笹口先生より会計報告森島繁先生(大41期)より監事報告をして頂きました。最後に高島市今津町出身の桑野夏久先生(大56期)より新入会員自己紹介をして頂きました。引続き福岡歯科大学同窓会会員5名が加わり合同学術講演会が開催されました。今回は福岡歯科大学との合同で学術講演会を開催し講師に大津市開業の小金澤一美先生にご依頼し訪問診療と摂食嚥下障害(生活)に出会える歯科診療所をめざしてという演題でご講演していただきました。先生は生活しづらい人の役に立つため食支援としての歯科医療、介護予防としての口腔ケアを